

2017年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：フランス ブルゴーニュ大学

留学期間：2017年7月～2018年1月

私は2年生の夏、本学で行われている短期語学実習でフランスに行ったことが留学を決意するきっかけでした。語学実習では自分の語学力に対して悔しい思いから、もっとフランス語を勉強したいという気持ちから留学を決意しました。

そして留学初日、生活する寮の部屋のカーテン代わりの雨戸が壊れていました。しかし、日曜日だったためアルバイトの方しかおらず、自分は仕事がよくわからないから別の日に来てくれと修理を先延ばしにされるどころからのスタートでした。フランスに来たばかりのころは、フランス語が今よりも聞き取ることができず、話すことにも消極的だったために曖昧なまま終わらせてしまうことも多々ありました。授業ではペアワークで話し合ったりすることが多く、生徒は本学のように年が近い女の子だけではないので年齢や国籍などが違う方々とどう話せば自分の意見が伝えられるかという点も、とても難しい課題でした。

このままではいけないと思い、授業では文法が間違っていようと話すように心掛けました。意見がうまく伝わらないことも多く、もどかしい思いもしました。しかし、フランス語を毎日勉強できるという楽しさがあり、挫けることなく続けることができました。

期末テストでは、他クラスとランダムで3人1組のグループを組み、その場でお題に沿った会話をするというものがありました。以前の私だったらほとんど話すこともなく終わっていたかもしれません。努力を重ねた結果、期末テストではメンバーにフォローしてもらいつつも無事終えることができました。

まさか自分が留学に行くことになるとは以前の私では考えられませんでした。元々私は自分から行動を起こす人間ではありませんでした。しかし、大学卒業後に留学をすることは今よりも、もっと難しくなると考え、留学にチャレンジしました。留学しなければ行かなかったかもしれない場所、出会わなかった人々、たくさんの出会いがありました。その後も連絡を取り合うような友人もできました。

留学では、大変なこともありましたがどんな状況になっても前向きでいられるよう日々を過ごしていました。留学をやり遂げるという目標を果たした今、挫けない精神力もついたのでないかと思います。留学では語学はもちろんのこと、精神面も鍛えることができました。半年間という短い期間ではありましたが、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

これからも留学の経験を糧にフランス語を学んでいきたいです。